

発達障害アセスメント研修② 応用編 「JSI-R (Japanese Sensory Inventory Revised)」の概要

1 研修の目的

アセスメントツールを使用することで、発達障害の特性を客観的にとらえたり、子どもの行動観察や保護者面接に活かす視点を得ることができます。この研修では、フォーマルなアセスメントツールの1つであるJSI-Rについて、概要や数値の意味を知ること、アセスメントの視点を学び、専門機関等で実施した検査結果を日常の支援計画に活かすことを目指します。

○アセスメントツールとは

アセスメントに用いられる標準化された検査方法をアセスメントツールといいます。結果を数値化することで、客観的に評価を行うことができます。

○JSI-Rとは

発達障害児の感覚刺激の受け取り方の傾向をみるために、養育者が質問紙にチェックして実施するアセスメントツールです。この検査は、4歳～6歳までの子どもで標準化されています。本研修では、アセスメントツールから、子どもの発達特性や行動面の理解を深め、具体的な支援の流れについて考えます。なお、JSI-Rは、インターネットから無料でダウンロードができます。

※本研修では、4歳～6歳以外の年齢で使用する場合の注意点や、4歳～10歳までの子どもを対象としたJSI-3D、JSI-Rの簡易版であるJSI-miniについてもお話いただきます。

2 対象者 ※さいたま市を除く

- ・発達障害支援専門研修受講者（保健師・児童発達支援センター職員・児童発達支援事業所職員・放課後等デイサービス職員）等
- ・各専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理士）
- ・発達支援サポーター育成研修修了者（レベルアップ研修受講者）

3 会場

埼玉県発達障害総合支援センター 研修室
(県立小児医療センター南玄関3階)

※県立小児医療センター正面玄関からは入れません。



4 研修日程

平成30年11月20日(火) 9:30～12:30 (開場9:00)

5 講師

太田 篤志 氏 (作業療法士) 株式会社アニマシオン プレイジム代表
姫路獨協大学客員教授
日本感覚統合学会常任理事

6 申込方法

埼玉県のホームページから電子申請システムまたは下記のスマートフォン用2次元バーコードからお申込みください。

【埼玉県ホームページからの入り方】

総合トップ → 組織情報 → 発達障害総合支援センター → 平成30年度研修一覧（支援者向け）
→ 発達障害支援専門研修 → 発達障害アセスメント研修②応用編

【スマートフォン用2次元バーコード】



7 申込期間・定員

- ・申込期間：平成30年7月23日（月）～平成30年11月12日（月）まで
- ・定員：100名（定員に達し次第、受付を終了します。）

※お申し込みは、先着順となります。受講決定通知は、行っておりません。

8 受講時の注意事項

○公共交通機関をご利用ください。県立小児医療センターの駐車場利用減免はできません。

○検査結果を集計する演習（計算作業）があります。

○発達障害児の感覚の受け取り方について、理解を深めるために、この研修の前後に「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修」の受講をお勧めします。

埼玉県発達障害総合支援センター

地域支援担当：関

Tel:048-601-5551 Fax:048-601-5552

mail: m015551@pref.saitama.lg.jp